

## 2024年度 ニチキッズさくらばし保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月6日（月）～1月31日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月4日（火）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念の理解と日々の保育での実践がかみ合っているかを振り返り、明日の保育に繋げていくことが大切と感じた。不適切保育の撲滅をめざし自分の保育を問う姿勢を持つ。
子どもの発達援助	子どもの個々の発達に寄り添い、どのように関り、発達を促していけば良いか、最善の方法を職員全員で考え、共有していくようにしてきた。それぞれの子どもの気持ちが前向きでいられるように援助していくことの必要性を感じた。
保護者に対する支援	日々保護者とのコミュニケーションを大事にするようにして、子育てに困っている時には、速やかに気付いてあげられる関係性の構築をしていく。話しやすく、相談しやすい保育園づくりを心掛けていくようにする。
保育を支える組織的基盤	職員全員が同じ思いで保育にあたるように、話し合う機会を多く持つようにしてきたが、記録をすることが大切で、今後も職員全員が共有出来る環境を整えていきたい。外部研修においても積極的に参加したが、一人ひとりの保育の質を向上させるよう今後も努力する。

総評
今年度は保育の内容についてそれぞれが振り返りを大切にしてきたが、子ども達の思いを理解しながら言葉をかけることを常に意識し実践したいと感じた。また、保護者の方の思いを受け止めて子ども達の成長を喜び合い、不安なことがあれば、すぐに相談し合える関係づくりを日常からしていく。 職員同士が、資質向上のために話し合い、記録し、共有することの大切さを改めて理解し、子ども達が安心して過ごせる環境づくりをしていきたい。